

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号  
公益財団法人 国際文化カレッジ  
理事長 品川 恵保

令和4年度事業報告

# 1 令和4年度事業報告

## I 公1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

### [1] 各事業（公1-1～公1-3）の連携

当年度は、公1の事業全体の連携を図るために、フォトマスター検定(公1-2)において、結果通知の際に写真関連の通信教育講座(公1-1)や総合写真展(公1-3)の周知を行い、知識の習得の機会や、作品発表の機会を与えるなどにより、各事業(公1-1～公1-3)の連携、連動を図った。

### [2] 公1-1：通信教育

定款第4条(事業)第1項第(1)号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、事業運営を行った。通信教育講座の普及活動における当年度の受講生(入学者)総数は、476人であった。

#### 通信教育講座について

##### 1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、当年度の入学者数は213人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年度間の異動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合計)	107	213	106	109	105
家庭園芸講座	23	49	21	29	22
自動車講座	13	57	24	32	14
総合盆栽講座	0	0	0	0	0
造園講座	0	0	0	0	0
オートバイ講座	0	0	0	0	0
ハイキングとカメラ技法講座	0	0	0	0	0
庭木と果樹の手入れ講座	6	7	7	1	5
庭の工作物手作り講座	0	4	4	0	0
写真作品創作塾	29	26	17	9	29
植物医講座	21	26	7	20	20
庭師入門講座	7	15	8	8	6
美術品鑑賞鑑定入門	8	29	18	10	9

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群は、当年度の入学者数は263人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年度間の異動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合計)	307	263	147	120	303
レタリング講座	59	47	39	7	60
A. 実践ボールペン字	18	13	9	3	19
C. トラブル対応力でチャンスに変える	8	27	14	14	7
D. コーチングで人を動かす	24	56	30	27	23
E. 説得力・交渉力を行使する	1	2	0	2	1
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	22	32	18	15	21
G. アサーション表現力で魅了する	29	8	2	7	28
I. 問題解決能力で現状を打破する	9	1	1	1	8
J. リーダーシップを発揮する	9	19	1	19	8
K. 論理的思考で実現させる	8	3	3	2	6
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	19	4	4	1	18
M. プレゼンテーションで成功する	9	3	3	1	8
N. 心理学でビジネスの成果を生む	29	11	3	7	30
O. 図解思考がクリアにする	19	8	5	1	21
P. 情報を成果に育てる	0	2	1	1	0
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	3	3	0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	38	14	9	6	37
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	1	1	0	0
T. 誰もが納得、数字の力	1	0	0	0	1
U. 実効性のあるキャリアデザイン	2	0	0	0	2
V. 新・人間関係のビタミン	0	1	0	1	0
W. 強いビジネス組織をつくる	1	1	0	1	1
X. コンサル型ビジネスの達人になる	0	1	0	0	1
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	2	6	1	4	3

## 2. 普及活動について

園芸、植物関連講座では、肥料・農薬・種苗メーカーを始めとする園芸・農業関連会社やホームセンターなどの職域における受講需要につき、今後もこの分野への普及活動の可能性を追求して行くものとする。自動車講座や家庭園芸講座では、矯正施設における社会復帰等に向けた教育を目的としての採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。写真作品創作塾については、フォトマスター検定事業(公1-2)と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動も行った。文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、これらを採用する企業や地方公共団体などが着実に増加してきた環境を受けて、受講生数も比較的安定していたが、対面営業の機会喪失などコロナ禍における影響も継続している。そのような中ではあるが、文部科学省認定講座群と合わせて幅広い領域における生涯学習、社会教育を推進することができた。次年度はウェブ広告を本格的に展開することで、広く当財団の提供する社会通信教育などを周知すべく努力し、さらなる普及活動を行っていく。

### 3. 学習指導

学習指導における学習指導者(専門家)および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問(質疑応答)に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
家庭園芸講座	計3名 山形大学農学部卒：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
自動車講座	計3名 元読売江東理工専門学校講師：1名／ 専門学校 読売自動車大学校専任教 員：1名／ 中央大学理工学部卒：1名	事務局職員 1名
総合盆栽講座	計2名 山形大学農学部卒：1名／ ㈱花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名	事務局職員 1名
造園講座	計2名 ㈱花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
オートバイ講座	計3名 専門学校 読売自動車大学校専任教 員：1名／ 三井住友海上火災保険㈱アジャスター・ 元読売江東理工専門学校講師：1名／ バイクジャーナリスト：1名	事務局職員 1名
ハイキングとカメラ 技法講座	計3名 写真家：1名／ 国立科学博物館附属自然教育園名誉研究員：2名	事務局職員 1名
庭木と果樹の手入れ 講座	計3名 2級造園施工管理技士：1名／ 山形大学農学部卒：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
庭の工作物手作り 講座	計2名 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
植物医講座	計3名 東京農業大学農学部卒：2名／ 千葉大学環境健康フィールド 科学センター・農学博士：1名	事務局職員 1名
写真作品創作塾	計3名 写真家：3名	事務局職員 1名
庭師入門講座	計3名 1級造園施工管理技士：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
美術品鑑賞・鑑定 入門講座	計3名 美術評論・鑑定家：1名／ 絵画保存修復工房代表：1名／ 元愛知県陶磁美術館館長補佐：1名	事務局職員 1名
文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者の変更について 美術品鑑賞・鑑定入門講座の学習指導者1名減。		

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
レタリング講座	計 2 名 レタリング技能検定中央試験委員：2 名	事務局職員 1 名
実践ボールペン字講座	計 2 名 大東文化大学日本文学科卒・硬筆・毛筆書家： 1 名/法政大学文学部書道科履修・硬筆・毛 筆書家：1 名	事務局職員 1 名
トラブル対応力でチャンスに変える／ コーチングで人を動かす／説得力・交渉 力を行使する／コミュニケーションで 自信と信頼を得る／アサーション表現 力で魅了する／問題解決能力で表現を 打破する／リーダーシップを発揮する ／論理的思考で実現させる／発想力・創 造力でビジョンを練り上げる／プレゼ ンテーションで成功する／心理学でビ ジネスの成果を生む／図解思考がクリ アにする／情報を成果に育てる／思わ ず誰かに話したくなるビジネス雑学／ 眠っている 9 割を刺激する脳の活性化法 ／誰でもできる時間の超活用法／誰も が納得、数字の力／実効性のあるキャリ アデザイン／新・人間関係のビタミン／ 強いビジネス組織をつくる／コンサル 型ビジネスの達人になる／ビジネスで 恥をかかない国語学	計 2 名 慶應義塾大学商学部卒・編集 企画制作事務所エムスリー代 表：1 名／慶應義塾大学文学 部社会学科卒・エム・エフ・ ジー(株)顧問：1 名	事務局職員 1 名

添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で 1,848 件、質疑応答は全講座の合計  
で 123 件であった(細目は下表)。なお、企業・団体における受講に対しては、  
人事部などの統括部署宛に、受講生全員の学習進度や成績などを細かく報告す  
るサービスも例年同様に実施した。

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均 回数	受けた者の 実人数
(合計)	1,492	6.8	219
家庭園芸講座	359	7.2	50
自動車講座	630	12.9	49
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	0	0.0	0
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	16	1.6	10
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	131	4.7	28
植物医講座	173	4.7	37
庭師入門講座	60	4.0	15
美術品鑑賞鑑定入門	123	4.1	30

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	356	1.3	282
レタリング講座	67	1.1	60
A.実践ボールペン字	31	2.1	15
C.トラブル対応力でチャンスに変える	28	1.0	28
D.コーチングで人を動かす	65	1.2	56
E.説得力・交渉力を行使する	4	2.0	2
F.コミュニケーションで自信と信頼を得る	33	1.1	30
G.アサーション表現力で魅了する	17	1.2	14
I.問題解決能力で現状を打破する	2	1.0	2
J.リーダーシップを発揮する	36	1.5	24
K.論理的思考で実現させる	4	2.0	2
L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる	4	2.0	2
M.プレゼンテーションで成功する	2	2.0	1
N.心理学でビジネスの成果を生む	17	1.1	16
O.凶解思考がクリアにする	3	1.0	3
P.情報を成果に育てる	2	1.0	2
Q.思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R.眠っている9割を刺激する脳の活性化法	23	1.4	17
S.誰でもできる時間の超活用法	0	0.0	0
T.誰もが納得、数字の力	0	0.0	0
U.実効性のあるキャリアデザイン	0	0.0	0
V.新・人間関係のビタミン	3	3.0	1
W.強いビジネス組織をつくる	3	3.0	1
X.コンサル型ビジネスの達人になる	0	0.0	0
Y.ビジネスで恥をかかない国語学	12	2.0	6

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	101	1.6	64
家庭園芸講座	15	3.8	4
自動車講座	45	1.3	34
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	0	0.0	8
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	0	0.0	4
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	19	9.5	2
植物医講座	11	1.4	8
庭師入門講座	4	4.0	1
美術品鑑賞鑑定入門	7	2.3	3

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	22	0.8	29
レタリング講座	7	0.5	15
A. 実践ボールペン字	0	0.0	2
C. トラブル対応力でチャンスに変える	0	0.0	0
D. コーチングで人を動かす	2	2.0	1
E. 説得力・交渉力を行使する	0	0.0	0
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	2	1.0	2
G. アサーション表現力で魅了する	2	0.0	0
I. 問題解決能力で現状を打破する	2	0.0	0
J. リーダーシップを発揮する	3	1.5	2
K. 論理的思考で実現させる	0	0.0	0
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	0	0.0	0
M. プレゼンテーションで成功する	0	0.0	0
N. 心理学でビジネスの成果を生む	1	0.5	2
O. 図解思考がクリアにする	2	0.0	0
P. 情報を成果に育てる	0	0.0	0
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	0	0.0	2
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	0.0	0
T. 誰もが納得、数字の力	0	0.0	0
U. 実効性のあるキャリアデザイン	0	0.0	0
V. 新・人間関係のビタミン	0	0.0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	0	0.0	0
X. コンサル型ビジネスの達人になる	0	0.0	0
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	1	0.3	3

**[4]公1-2：通信教育に関連する知識・技能の検定**

定款第4条(事業)第1項第(4)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座に関連する、第20回フォトマスター／写真とカメラの実用知識検定(略称：フォトマスター検定)を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

(イ) 試験実施日

令和4年 11月20日・日曜日(通常日程試験)  
 及び11月21日・月曜日(特別日程試験)  
 及び11月22日・火曜日(特別日程試験)

(ロ) 試験会場

昨年度新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を鑑み18都道府県(19箇所)に絞った試験会場を、本年度は42都道府県に拡大して実施した。

令和4年度の開催都道府県は下記の通り。

北海道/青森県/岩手県/宮城県/秋田県/山形県/福島県/茨城県/栃木県/群馬県/埼玉県/千葉県/東京都/神奈川県/新潟県/富山県/石川県/福井県/山梨県/長野県/岐阜県/静岡県/愛知県/三重県/滋賀県/京都府/大阪府/兵庫県/奈良県/和歌山県/島根県/岡山県/広島県/山口県/徳島県/愛媛県/福岡県/熊本県/大分県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県  
 以上42都道府県

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は2,148人、受験者数は1,853人、合格者数は1,141人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場(準会場)を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。また、不特定多数が集う本会場については、感染対策グッズを準備するなど感染症対策を実施した。

受験級	区 分	応募者数	受験者数	合格者数
3 級	個人受験・一般会場	294	241	236
	団体・一般会場受験	25	23	19
	団体・自主会場受験	191	165	129
2 級	個人受験・一般会場	481	418	327
	団体・一般会場受験	26	22	15
	団体・自主会場受験	201	187	101
準1級	個人受験・一般会場	306	248	128
	団体・一般会場受験	21	18	5
	団体・自主会場受験	84	77	27
1 級	個人受験・一般会場	374	321	120
	団体・一般会場受験	27	21	7
	団体・自主会場受験	118	112	27
小 計		2,148	1,853	1,141
EX認定コース	(1ジャンル認定)	12	12	12
	(総合認定)	8	8	2
	(追加総合認定)	1	1	0
小 計		21	21	14
合 計		2,169	1,874	1,155

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写



真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象としてインターネット広告をはじめ、関連施設への受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。

階級	一般グループ	業界関連グループ
1級	写真専攻大学生 優秀レベル	メーカー 営業責任者
	写真専門学校生 優秀レベル	販売店 販売責任者
	メーカー等のスクール指導者	プロラボ/総合ラボ 責任者
		写真館 撮影担当
		アシスタントカメラマン
準1級	写真専攻大学生 並レベル	メーカー 営業担当
	写真専門学校生 並レベル	販売店 販売担当
	高校写真部顧問	プロラボ/総合ラボ 従事者
	写真愛好家 歴10年以上	技術・営業担当者
	地域のサークルリーダー	
2級	中学校写真顧問	メーカー 事務従事者
	高校写真部員	ミニラボ オペレーター
	写真愛好家 歴5～10年	写真館 窓口担当
	メーカー等のスクールメンバー	一般紙誌編集者
	地域のサークルメンバー	各種企業広報担当者
	カメラ機械愛好家	デザイナーアシスタント
	カメラ雑誌愛読者	フリー記者・ライター
3級	中学写真部員	DPE 窓口担当者
	趣味愛好家 歴5年未満	(取次店含む)
	撮影機会の多い一般者	

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に正確に反映させた。また、試験問題について、(一社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとすることに努めた。

	氏名等
プロ写真家・ 評論家関係	徳光ゆかり/テラウチマサト/市川泰憲/ 板見浩史/赤松秀夫/枝常伊佐央/大久保晴功
写真・カメラ メーカー技術者 関係	キヤノンマーケティングジャパン(株) : 1名/ 株タムロン : 1名/株シグマ : 1名/ 株ケンコー・トキナー : 1名/ 株ニコンイメージングジャパン : 1名/ パナソニック(株) : 1名/富士フイルムイメージングシステムズ(株) : 1名/リコーイメージング(株) : 1名/ 株市川ソフトラボラトリー : 1名

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1 団体	4 名(各級1名)
当法人による表彰	最優秀団体賞 1 団体 優秀団体賞 9 団体 人材育成貢献賞 該当無	最優秀個人賞 8 名 優秀個人賞 47 名 (各級合計)

## [5] 公1-3：写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

### (イ) 総合写真展

#### 1. 展示点数等

当年度・第26回展では、審査により入選以上に該当した1,422点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

出品部門		展示作品数
半切サイズ	フィルム写真部門	49
	デジタル写真部門	887
全紙サイズ	フィルム写真部門	35
	デジタル写真部門	451
合 計		1,422

#### 2. 公募活動

前年度同様、当法人の写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

#### 3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

氏 名	経 歴
川合 麻紀	プロ写真家
徳光 ゆかり	プロ写真家
テラウチマサト	プロ写真家
板見 浩史	写真評論家
丸林 正則	プロ写真家

#### 4. 会期、会場、参観者数等

令和4年12月13日から12月18日の会期で、東京都美術館・1階第2～4展示室(東京都台東区上野公園8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は3,029人であった。開催に際しては、東京都や東京都美術館のガイドライン等に即して飛沫防止や密対策等を行った。

#### 5. 表彰式

表彰式は、令和4年12月13日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、優秀賞以上の178名のみ招待制で案内を行い、出席者は79名だった。参加者以外の出品者への授賞賞状については、作品と同送にて出品者に届けた。

#### 6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名をホームページや全国版写真専門誌に掲

載して公表した。

(ロ) 日美展「水墨画部門」

1. 展示点数等

当年度・第5回展では、審査により入選以上に該当した384点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。当事業の計画は、前回の第4回展の展示数をもとに450点の展示と減少予測をしたが、結果として、想定以上の減少となり、-26%の展示数となった。水墨画分野については、他団体の状況としても非常に厳しい実態があり、社会的趨勢として、技能習得に期間を要する伝統芸能分野への参加者が減少している実態がうかがえる。その結果として、高齢化の進捗による展覧会等への参加者減が発生しており、おそらく減少傾向については近い将来の反転は想定しづらいと認識している。

出品の部		展示作品数
作家の部	F30号/F20号/F15号	84
一般の部	F30号/F20号/F15号/F10号 /F8号/F6号/半切1/2	233
臨画の部	F10号/F8号/F6号/半切1/2	50
俳画の部	F8号/F6号/色紙	11
無鑑査出品	F50号/F30号/F20号	6
合 計		384

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品(類似の俳画作品を含む)を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DMなどにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に提示した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※当年度は下記20名の委嘱審査員のうち、大竹 卓/久山 一枝/小林 東雲/沈 和年/根岸 嘉一郎/藤崎 千雲の6名の専門家が当番審査員として審査に当たった。

五十嵐 玉俊(水墨画家)/伊藤 昌(水墨画家)/大竹 卓(水墨画家)/岡原 大華(水墨画家)/川端 豊次(水墨画家)/久山 一枝(水墨画家)/小林 東雲(水墨画家)/酒井 祐二(水墨画家)/篠原 貴之(水墨画家)/沈 和年(水墨画家)/新恵 美佐子(水墨画家)/千野 曜生(水墨画家)/千葉 玄象(水墨画家)/根岸 嘉一郎(水墨画家)/濱中 応彦(水墨画家)/藤崎 千雲(水墨画家)/松井 陽水(水墨画家)/丸山 東子(水墨画家)/村山 華風(水墨画家)/玉俊 宇瀨(水墨画家)

※審査員による審査結果の最終承認等を行う当年度の「実行委員」は以下により組織した。

河野 元昭(静嘉堂文庫美術館館長)/島尾 新(学習院大学教授)/町田 泰宣(公益社団法人日本南画院会長)/品川 恵保(当法人理事長)

4. 会期、会場、参観者数等

令和4年8月11日から8月20日の会期で、国立新美術館(東京都港区六本木 7-22-2)を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料と

して開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は2,923名であった。開催に際しては、東京都や国立新美術館のガイドライン等に即して飛沫防止や密対策等を行った。

## 5. 表彰式

新型コロナウイルスの社会情勢により、国立新美術館講堂において人数を絞った招待制にて開催を計画したが、7月からのコロナ第7波の状況を鑑み表彰式自体を中止とした。授賞賞状については、作品と同送にて出品者に届けた。

## 6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表・販売し、当年度は223部を発行した。

### (ハ) 日美展「絵画部門」

#### 1. 展示点数等

当年度・第5回展では、審査により入選以上に該当した1,125点の作品を展覧会会場（下記4.）に展示して公開した。当事業の計画は、前回の第4回展の展示数をもとに微増の1,200点の展示と予測をしたが、-4%の微減となった。社会情勢を踏まえると、微減という結果も肯定的に捉えられる。

出品の部		展示作品数
油絵の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	377
水彩画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	323
パステル画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	48
色鉛筆画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	151
デッサンの部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	45
日本画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	50
ちぎり絵の部	F10号/F8号/大色紙	43
絵手紙の部	ハガキ形式/巻き手紙形式	88
合計		1,125

#### 2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DMなどにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

### 3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※「審査員」は以下の通り、部門別に当該分野の専門画家を置き、各部別の審査に当たった。	
油絵の部	板倉 暁(画家)／遊馬 賢一(画家)
水彩画の部	西丸 式人(画家)／岸本 庄八郎(画家)
パステル画の部	大枝 隆司郎(画家)
色鉛筆画の部	大枝 隆司郎(画家)／林 佳名(画家)
デッサンの部	村松 昌三(画家)
日本画の部	山本 真也(画家)／井坂 洋一(画家)
ちぎり絵の部	早川 美子(ちぎり絵作家)／玉井 祐子(ちぎり絵作家)
絵手紙の部	花城 祐子(絵手紙作家)
※上記の審査員による各部別の審査結果に基づいて、部を横断しての上位優秀作品に授与する賞(全体賞)を選定、決定する当年度の「大賞選考委員」は、以下により組織した。	
川口 紀美雄(画家)／千足 伸行(成城大学教授、画家)／中野 淳(武蔵野美術大学名誉教授、画家)／永井 龍之介(美術鑑定士他)／品川 恵保(当法人理事長)	

### 4. 会期、会場、参観者数等

令和4年8月11日から8月20日の会期で、国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は4,637名であった。開催に際しては、東京都や国立新美術館のガイドライン等に即して飛沫防止や密対策等を行った。

### 5. 表彰式

新型コロナウイルスの社会情勢により、国立新美術館講堂において人数を絞った招待制にて開催を計画したが、7月からのコロナ第7波の状況を鑑み表彰式自体を中止とした。授賞賞状については、作品と同送にて出品者に届けた。

### 6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は517部を発行した。

[6] 公 1-4 : 芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

(イ) 軽井沢千住博美術館

1. 展示作品等

一般の観覧者のもとより、当法人の美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する展覧会の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、現代日本を代表する日本画家千住博の世界観・宇宙観を表現した。なお、当年は「ウォーターフォール・オン・カラーズ」のシリーズ 2 点の新作を「世界は色彩に満ちている」というキャッチコピーで公開した。これは、コロナ禍において、世界がモノトーンのような雰囲気に含まれる中、今まで外から“滝”を見ていた我々が、滝の裏側から“世界”を見れば、そこには美しい光と希望に満ちた世界が広がっている、ということを再認識してもらいたいという作者のメッセージでもあり、このような苦しい時こそ、芸術が力になるという信念に基づいた作品であった。全体としては、動画作品を含めた 56 点を展示公開した。

2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日(令和 4 年 12 月 26 日から令和 5 年 2 月 28 日の期間は冬期休館)の期間で、開館日数は 273 日、延べ入館者数は下表の通り 49,480 名であった。令和 3 年夏季までは緊急事態宣言などの行動制限が強かったが、秋より、いわゆるリベンジ旅行が盛り上がりを見せ、令和 4 年 6 月からは全国旅行支援「信州割スペシャル」が開始されるにおよび、当美術館の入館者数もコロナ禍前に戻ってきていた。ただ、夏の第 7 波は陽性者数としては未曾有の数値となっていたことから、コロナ禍前に比較しては落ち込みを見せた。しかしながら、長野県という立地や美術館という広く静かな空間では、感染の危険性が少ないことの理解が徐々に進んでいたことから、極端な落ち込みは見られず、年間としては完全なコロナ禍前である平成 30 年 49,451 名とほぼ同数の入館者数を確保することができた。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、障害者が 1,780 名、中学生以下が 1,738 名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。開館に際しては、WEB や敷地内各所でのマスク消毒等のお願いを実施し、職員は日々の検温、各種飛沫対策を実施した。また、手の触れる場所等は高頻度での消毒を実施し、感染防止策を実行した。

入館者区分		入館人数
有料入館者	一般・個人	45,962
入館料免除対象者	障害者	1,780
	中学生以下	1,738
合計		49,480

(ロ) 軽井沢ギャラリー館

当年度は、昨年度の 3 月 30 日から 4 月 25 日までを、長野県を中心とした風景を描いたペン画家・田村彰浩による「神々が宿る風景-日本の原点を訪ねて-展」、4 月 28 日から 5 月 15 日までを、公 1-3(イ)事業との連携として「第 7 回『軽井沢追分写遊会』写真展」、5 月 18 日～6 月 5 日までを公 1-3(ハ)事業との連携として、軽井沢のデジタルアート作家 CLARIS による「CLARIS WORLD Beyond it」、6 月 8 日～7 月 4 日を公 1-3(ハ)事業との連携として「窓の向こうの世界-松平修文絵画展」、7 月 7 日から 7 月 19 日までを公 1-3(イ)事業との連携として「小出撰-水彩画展」、7 月 22 日から 8 月 30 日までを、公 1-3(ハ)事業との連携として「駒井哲郎・池田満寿夫-信州ゆかりの名版画家展」、9 月 2 日から 10 月 2 日までを、公 1-3(ハ)事業との連携と

して「天紫生-絵画展」、10月5日から11月6日までを公1-3(ハ)事業との連携として「橋本不二子-水彩画展」、11月9日から11月27日までを、公1-4(イ)事業との連携として「星のふる夜に When Stardust Falls…動画展」、11月30日から12月25日までを公1-3(ハ)事業との連携として「UWC ISAK JAPAN 作品展『気になるのは?世界の若者の声』」、本年3月1日から3月27日までを、公1-3(ハ)事業との連携として、長野県上田染谷丘高等学校美術部による「ソメビ観光2023展」を開催した。このように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に広く寄与するべく事業を実施した。

開催期間	催し内容
令和4年3月30日 ~ 令和4年4月25日	神々が宿る風景-日本の原点を訪ねて-
令和4年4月28日 ~ 令和4年5月15日	第7回『軽井沢追分写遊会』写真展
令和4年5月18日 ~ 令和4年6月5日	CLARIS WORLD Beyond it
令和4年6月8日 ~ 令和4年7月4日	窓の向こうの世界-松平修文絵画展
令和4年7月7日 ~ 令和4年7月19日	小出撰-水彩画展
令和4年7月22日 ~ 令和4年8月30日	駒井哲郎・池田満寿夫 -信州ゆかりの名版画家展-
令和4年9月2日 ~ 令和4年10月2日	天紫生-絵画展
令和4年10月5日 ~ 令和4年11月6日	橋本不二子-水彩画展
令和4年11月9日 ~ 令和4年11月27日	星のふる夜に When Stardust Falls…動画展
令和4年11月30日 ~ 令和4年12月25日	UWC ISAK JAPAN 作品展 『気になるのは?世界の若者の声』
令和5年3月1日 ~ 令和5年3月27日	ソメビ観光2023展

#### (ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

##### 1. カラーリーフガーデンの活用

*Acer platanoides* 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科)や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールドデン・クラウド' /カバノキ科)などの木本、*Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科)や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科)などの草本等々、他の植物園等では見聞し難いカラーリーフプランツを約150種類以上、総数約6万株植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し観覧者の啓発、教化に努めている。本年度は台風などでの大きな被害はなかったが、定期的なメンテナンスを実施し、散策路の安全保持と景観維持に努めた。

#### (ニ) 令和4年度の美術品購入について

美術品購入は、「美術品購入積立資金」計画に基づいて行われている。令和4年度は、総額・40,664,550円を積立資金より取崩し費消した。費用の明細は以下の通りである。

- ①浅間山(2023年) 40,664,550円

## II 収1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

### [1]収1-1：出版

定款第4条(事業)第1項第(3)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：1,500冊、デジタル技術検定関係が1,300冊、レタリング技能検定関係で3,900冊であった。実販売数は、フォトマスター検定関係は、目標を超える1,919冊、デジタル技術検定関係は、昨年的大幅増をそのまま計画したが例年並み実績の1,089冊、レタリング技能検定関係は、ほぼ目標通りの3,829部となった。ラジオ・音響技能検定関係は休止により販売予測を計画せず販売実績もなかった。

関連する当法人の通信教育講座等	出版物の内容・種類と販売部数
文部科学省認定 「写真作品創作塾」 (公1-1) 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 (公1-1) フォトマスター検定 (公1-2)	写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本 <出版物の種類> ①フォト検 過去問題の解答と解説1～8／②フォトマスター検定公式テキスト <販売部数> 当年度の販売部数は、合計：1,919部 ①フォト検 過去問題の解答と解説1～8：1,078部 フォトマスター検定公式テキスト：841部
文部科学省認定 「自動車講座」 (公1-1) 文部科学省認定 「オートバイ講座」 (公1-1) 文部科学省認定 「写真作品創作塾」 (公1-1) 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 (公1-1) フォトマスター検定 (公1-2)	自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラのデジタルシステムや音響に係る、デジタル技術検定、またはラジオ・音響技能検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本。 <出版物の種類：デジタル技術検定関係> 4級試験問題集／3級試験問題集／2級制御部門試験問題集／2級情報部門試験問題集 <出版物の種類：ラジオ音響技能検定関係> 4級最新既出問題集／4級受験読本／3級最新既出問題集／3級受験読本／2級最新既出問題集／2級技術教本 <販売部数> 当年度の販売部数はデジタル技術検定関係で計1,089部、ラジオ音響技能検定関係で計0部、合計1,089部であった。
レタリング講座 (公1-1) レタリング技能検定 (収1-5)	レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。 <出版物の種類> 書体サンプル集／文字骨格練習帳 <販売部数> 書体サンプル集：3,193部。文字骨格練習帳：636部



[2]収1-2：物品販売

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要な用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する出品資料へのカタログを同封するなどして購入者を募った。

	販売品目と販売点数等
日美展「絵画部門」関連商品類(公13)	<p>&lt;カタログでの販売品目&gt;            油絵用筆類/油絵具類/キャンバス類/画用液/水彩用筆類/水彩絵具類/水彩用紙/色鉛筆/日本画用筆/麻紙ボード/パステル/パステル用フィキサチーフ/パステル用スケッチブック/汎用スケッチブック/ちぎり絵用和紙類/ちぎり絵用台紙/顔彩類/画用印/絵手紙用筆/絵手紙箋/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約95品目</p> <p>&lt;同販売点数等&gt;            当年度は、購入者が729人、販売商品の延べ販売数が1,116点であった。</p>
日美展「水墨画部門」関連商品類(公13)	<p>&lt;カタログでの販売品目&gt;            毛筆類/墨/墨液/顔彩/用紙類/印泥付雅印/印泥/印矩/下敷/紙断包丁/ドーサ塗り用刷毛/ドーサ液/わんぱう/膠液/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約155品目</p> <p>&lt;同販売点数等&gt;            当年度は、購入者が317人、販売商品の延べ販売数が634点であった。</p>
展示館施設関連商品類(公14)	<p>&lt;販売品目&gt;            ポストカード/レターセット/オリジナル名刺入れ/小型複製画/シンボルマークキーホルダー/美術館カタログ/美術館DVD/千住博の各種著作物/カラーリーフガイドブック/セレクト雑貨等、約550品目</p> <p>&lt;販売点数等&gt;            当年度は、販売商品の延べ販売点数は43,764点であった。</p>

[3]収 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品(入選以上該当作品)の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を計画したが、8月開催の日美展は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、親睦パーティーは計画しなかった。なお、展覧会における表装は、材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らせた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを、買取の場合は表装した状態のままで返送した。

(イ) 総合写真展(公1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装(規定サイズへの紙焼き除く) 代行した作品点数
半切	買取	580
	リース	356
全紙	買取	384
	リース	102
合計		1,422
親睦パーティーは中止した		

(ロ) 日美展「水墨画部門」(公1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30号	買取	69
	リース	58
F20号	買取	56
	リース	38
F15号	買取	14
	リース	11
F10号	買取	31
	リース	14
F8号	買取	36
F6号	買取	15
半切1/2	買取	39
色紙	買取	3
合計		384
親睦パーティーは計画しなかった		

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30 号	買取	110
	リース	49
F20 号	買取	81
	リース	38
F15 号	買取	59
	リース	24
F10 号	買取	159
	リース	53
F8 号	買取	129
F6 号	買取	172
F4 号	買取	142
大色紙	買取	21
ハガキ形式	買取	69
巻き手紙	買取	19
合 計		1, 125
親睦パーティーは計画しなかった		

[4]収 1-4：貸室

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額 200,000 円(税別)、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公 1-4)の建物の一部(床面積 162.13 ㎡)をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5]収 1-5：業務受託等

定款第 4 条(事業)第 1 項第(2)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の開発や学習指導等に寄与、反映させるべく、「デジタル技術検定」、「レタリング技能検定」の試験業務を主催事業として実施した。

(イ) デジタル技術検定

1. 試験実施日

令和 4 年 6 月 26 日・日曜日

令和 4 年 11 月 27 日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

6 月(本会場 10、準会場 42、計 52 会場)

11 月(本会場 11、準会場 36、計 47 会場)

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、当年度は下表の通りであった。受験料の割引については本会場実施団体および一般会場で受験する団体受験の場合は延べ 15 名以上受験で 10%を割引いて実施した。また、準会場については、新型コロナウイルス感染症対策として、団体には自校・自社会場(準会場)の設置を勧め、かつ促進の観点から、受験料の 10%割引きについては割引対象の規定を延べ 30 人から 15 人へ引き下げ、設置についても人数制限を撤廃し、最少人数でも本会場に赴くことなく実施できるよう配慮した。また、不特定多数が集う本会場については、感染対策グッズを準備するなど感染症対策を実施した。しかしながら、検

定の申込検討(案内送付)から開催までは3か月程度の期間があり、本年度も1月～3月の第6波、7～9月の第7波により、団体申込の減少が発生し、厳しい結果となった。

受験級	応募者数	受験者数	合格者数
1級情報	55	43	10
1級制御	63	53	15
2級情報	452	400	243
2級制御	528	463	291
3級	771	725	633
4級	160	151	135
合計	2,029	1,835	1,327

#### 4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、インターネット広告等により、受験者を募集した。

#### 5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／東京工業高等専門学校名誉教授：1名／  
東京工科大学教授：1名／日本大学教授：1名

#### 6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	2団体	6名(2級以上各1名)
当法人による表彰	3団体	186名(各級合計)

#### (ロ) ラジオ・音響技能検定

本検定は受験者減少のため、平成28年度から休止している。

#### (ハ) レタリング技能検定

##### 1. 試験実施日

A日程：令和4年6月5日(日) B日程：令和4年6月11日(土)

##### 2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

6月(本会場5、準会場133、計138会場)

##### 3. 受検者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度の結果は下表の通りであった。新型コロナウイルス感染症対策として、団体には自校会場(準会場)の設置を促した。また、準会場の試験監督料の支払いについては、三密防止で教室を複数使用する団体には、1教室当りの受検者数に限らず必要人数分の試験監督料を支払うなど、受検団体のコロナ対策にも配慮した。なお、受検料は、自主会場の団体受検の場合は10%を、一般会場で受検する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

受 検 級	志願者数	受検者数	合格者数
1 級	45	45	7
2 級	414	401	145
3 級	2,688	2,623	1,736
4 級	956	928	731
合計	4,103	3,997	2,619

#### 4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受検案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受検者を募った。

#### 5. 検定委員等

検定委員は下記の専門家により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や可否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2名／  
 デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2名／  
 会社員・文字・書体デザイナー：1名／  
 多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・  
 文字・書体デザイナー：1名／  
 文筆業：1名

#### 6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受検または個人受検については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受検に対して	個人受検に対して
文部科学大臣賞	1 団体	1 名
外部団体の表彰		
当法人による表彰	26 団体	81 名(各級合計)

#### [6]収 1-6：イベント事業

定款第4条(事業)第1項第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および(6)「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づくイベント事業については、本年は計画をしなかった。